

薩摩川内市災害派遣用トイレカーについて



【目的】

令和6年能登半島地震の教訓をもとに、災害時において衛生的で安全なトイレ環境を確保し、避難生活環境の向上を図る目的で、災害派遣用トイレカーを1台導入しました。

【事業費】

34,374千円（千円未満切り上げ）

財源：新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）※補助率1／2
一般財源分については、特別交付税により8割措置

【災害時の利用】

本市が被災した際に、仮設トイレとして使用します。また、他自治体が被災した際は、派遣要請や相互応援協定等に基づき、被災自治体に派遣します。

【平時の利用】

市内で開催される防災訓練や各種イベントなどで使用します。

【運用開始日】

令和8年3月17日 火曜日

【概要】

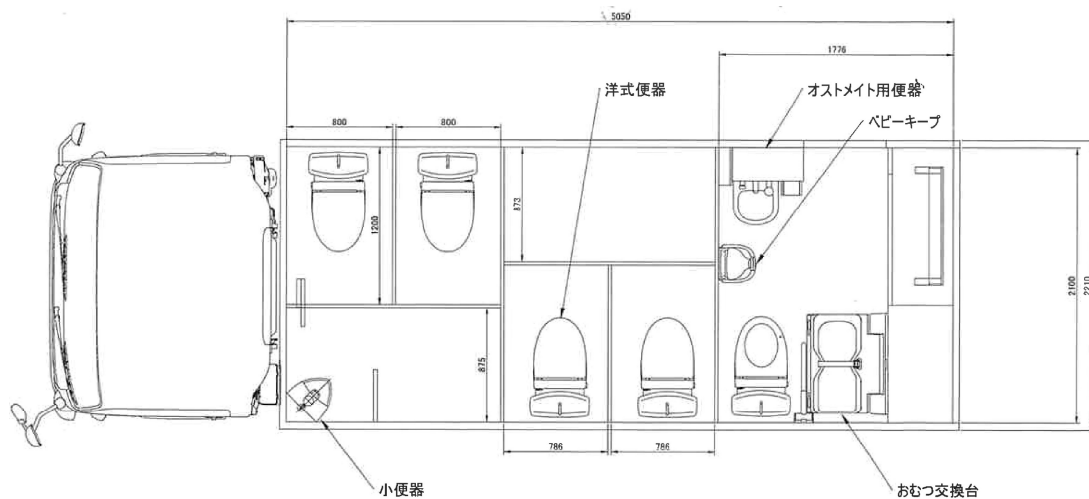
車両概要

車体の形状	糞尿車（8ナンバー）
ベース車両	いすゞ エルフ（3tトラックタイプ：4WD・AT）
車両寸法	全長698cm・全幅225cm・全高323cm・車両総重量6065kg
乗車定員	3人
運転免許	準中型免許が必要 ※平成19年6月1日までに取得した普通免許は運転可

トイレ概要

トイレ室	男性用、女性用、多目的用に区分し、各室の出入口を分離
トイレ数	男 性 用：大便器２基、小便器１基 女 性 用：大便器２基 多目的用：大便器１基、オストメイト便器１基
便座	温水洗浄機付き便座
トイレ室内高	１ ７ ８ ｃｍ
給水用タンク	７ ０ ０ ｌ
汚水用タンク	９ ６ ０ ｌ
使用回数	概ね３００回～４００回程度
主要設備	トイレ部分用サブバッテリー、外部充電装置、走行充電装置、充電用ソーラーパネル、ＬＥＤ照明、換気扇、非常用ボタン、配管凍結防止ヒーター（寒冷地仕様）、ＩＯＴシステム※１
多目的用 トイレ設備	エアコン、おむつ交換台、ベビーキープ（乳幼児用チェア）、車椅子用昇降電動リフト

※１ トイレカーの稼働状況等（給水／汚水タンク残量・非常ボタン作動状況・車両位置情報・バッテリー残量・空室状況・稼働状況・外気温など）を遠隔で確認できるシステム。



【災害時応援協定】

災害時にトイレカーを迅速かつ円滑に相互派遣できるよう、今後、トイレカーを所有する自治体との相互応援協定の締結に向けて進めていく。